

肝臓学は、ポスト C 型肝炎の時代に入っている。C 型肝炎ウイルスが 1989 年に発見されてから四半世紀以上が経過し、「ようやく」というべきか「こんなに早く」というべきか、強力な抗ウイルス薬が開発され、100%に近い駆除率が達成された。では、肝臓病は片づいたのであろうか。

もっとも重要な成果は、C 型肝炎関連肝癌の減少である。C 型肝炎が進行する前にウイルス駆除が達成されれば、肝癌発生のリスクはきわめて低くなる。一方、(代償性)肝硬変まで進行したケースでは、門脈圧亢進症の改善は期待されたほどではない。ウイルス駆除後の非代償化進行のデータも出てきている。

肝癌では非 B 非 C 型肝炎の増加が著しく、2019 年には 50%を超えている施設が多い。肝硬変はどうであろうか。最近の厚生労働省小池班の肝硬変レジストリー研究によると、あくまでも、「入院した」肝硬変というケースづくりではあるが、実に 75%が非 B 非 C 型肝炎硬変となっている。繰り返し入院するケースは、多くが非 B 非 C 型である。非アルコール性脂肪肝炎(NASH)、アルコール性肝硬変、あるいはそれらの混合型も存在する。肝硬変の病像も変化してきており、それに対応していく必要がある。

そして、腹水治療、脳症治療、静脈瘤治療という古典的な肝硬変合併症の治療に加えて、サルコペニア、筋痙攣(こむら返り)等の診断と治療にも取り組まなくてはならない。脳症にも Covert 脳症という概念が出てきている。

2020 年は肝硬変診療の新時代の幕開けである。10 月末には、日本消化器病学会、日本肝臓学会合同の肝硬変ガイドラインも出版された。今、肝硬変が熱い。

(小池 和彦)

臨牀 消化器内科® Vol. 35 No. 13

©2020 年 11 月 20 日発行

定価(本体 3,000 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791